

## 奄美世界自然遺産トレイル（仮称）～奄美群島道づくりの挑戦～

奄美世界自然遺産トレイル（仮称）は、最短で平成 30 年の登録を目指す奄美大島・徳之島の世界遺産登録の効果を奄美群島全体に波及させるため、また群島全体の連携強化を図るため、群島全体を連続する歩く道でつなぐ鹿児島県の長距離歩道計画である。平成 27 年度は基本構想の策定と概略路線の設定を行い、平成 28 年度以降で、先行的に取り組むモデル地区から順次路線の選定を進め、最短で平成 32 年度の全線開通を目指している。

平成 27 年度業務は、基本構想案の作成を支援し、会合における検討を通じて基本構想を策定したほか、特に島面積の大きい奄美大島・徳之島の概略路線案を作成・検討し、2 島における概略路線の認識を共有した。また、12 月には奄美群島 11 市町村の担当者を対象に、3 月には今後のモデルとなる 4 地区の住民を対象にトレイル勉強会を開催し、講師による先進事例の紹介やワークショップ等を通じて、トレイルに関する理解促進・普及啓発を図った。

### 【基本構想の策定】

◇奄美世界自然遺産トレイル（仮称）とは…奄美固有の自然と文化に歩いてふれあい、奥深さを体験できる道。来島者や地域住民が奄美群島の自然・歴史・文化のつながりとそれぞれの固有性を実感できるように、群島の全市町村を「歩く道」でつなぐ。

◇基本的な考え方…1 日利用を中心とし、10km 程度の歩ける区間の積み重ねで構成する。全長は数百キロに及び、起点から終点までを通して歩く利用も想定。既存の道の活用を基本とする。



### 【概略路線の設定】

◇作成方法…各島の自然、風景、歴史文化の魅力資源をマッピングし、魅力資源のまとまりのある箇所をゾーンとして抽出。魅力性のほか、利便性、活用性、活動性を選定基準として用いて、ゾーンのつなぎあわせを検討し、幅数 km の概略路線案を作成した（奄美大島・徳之島のみ）。

◇検討過程…上の概略路線案を基に、地域との話し合いを通じて、逐次フィードバック・修正の繰り返し。奄美大島・徳之島以外は島の面積が小さいので、上記方法はとらず地域との話し合いで、直接、概略路線を設定した。

### 【トレイル勉強会の開催】

◇第 1 回トレイル勉強会…12/4・5 に大和村国直公民館において、群島内 11 市町村の担当者等が集合。四国のみちやみちのく潮風トレイルの先進事例を紹介後、トレイルの計画や今後の進め方について認識を共有した。

◇第 2 回トレイル勉強会…3/24～27 にかけて、沖永良部島 2 町・徳之島伊仙町・奄美市住用で、地域住民の方々とワークショップや現地実習を行った。美里フットパス協会から講師をお招きし、歩く楽しさを地域の方々に伝授した。

### 【概略路線（全線模式図）】

